

～ 院長コラム ～

『療養型病床で大変なこと』

看護師さんは大変です。

介護に手がかかる人が多くてバタバタのことが多いです。

高齢者で困っていることの1つに便秘があります。

下剤を飲ませる、ダメなら浣腸、それでもダメなら排便をします。

結構、重労働です。

患者さんもおなかが痛いし張るし、疲れます。

こういうときは、患者さんのカラダに排便させようとする強い応答を引き出せば良いです。

一般には、体力のない人には使わないと言われている桃核承気湯（とうかくじょうきとう）を1包飲んでもらいます。

弱い応答を引き出しても便は出ませんから、こういうときは強い応答を引き出す桃核承気湯を使います。

1包、2包と飲む頃にはドッと大量に排便します。

これで済むので、喜ばれます。

排便があれば桃核承気湯は一旦中止です。

漢方薬の使い方に関する考え方をちょっと変えれば良いです。

「こども健康ネットブログ」より



なかしまこどもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



こども健康ネットブログ
QRコード



なかしまこどもクリニック
公式LINE QRコード

漢方ファン

— Vol. 15 (2022年11月) —



 なかしまこどもクリニック